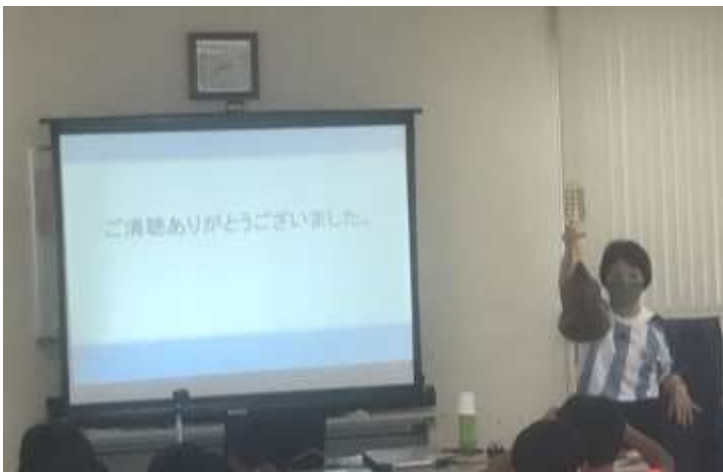


タンゴとサッカーの国・ アルゼンチン

6月18日(土)に城東公民館で、国際理解出前講座「タンゴとサッカーの国・アルゼンチン」を開催しました。

講師は、アルゼンチンの首都ブエノスアイレスで育った大谷アリシアさんです。サッカークラブに所属する小学生24人を含む42人が参加しました。



講座では、アルゼンチンの風土や特徴、日本とのつながり、またメジャースポーツであるサッカーについてなど、パワーポイントを用いて説明を行いました。

途中、クイズ形式でアルゼンチンの公用語であるスペイン語のミニ講座がありました。日常的に知らず知らず使っているスペイン語があったり、日本語とは意味の異なる“バカ(牛)”と“アホ(にんにく)”などの言葉があったりと、子どもたちも興味を持った様子でした。

また、マテ茶の茶道具やアルマジロの甲羅で作られたギターなど、普段目にできない物の展示もありました。

この講座を通し、アルゼンチンへの理解を深めることができたことと思います。

